

F2 オークレー les Eaux Claires

フランスの西部、大西洋側に位置するエリア。

世界で最難のグレード(9b,5.15b)が付いているアキラもこの地域にある。アキラをはじめ8c+から9aの有名なハードルートが数多く点在しているのは、すべて地元のフレッドローリングが開拓しているためだ。またルートのみならず数多くのループのボルダーエリアが非常に充実している。ほとんどのルートはナチュラルだがハードルートの一部ではチッピングされている。

オークレー自体は古いエリアで、やさしいルートから400-500本くらいはルートがそろっている。

雰囲気はドイツのフランケンユラーに似ており、森の中に岩峰が点在している。岩峰は密集しているのでドイツのように迷うことは少ない。

世界中から多くのトップクライマーが訪れているが、これらの理由からあまり成果が出せず、エリアとしての評価は高くなかった。2000年にユージと大ちゃんが2ヶ月近く滞在し、8c+の第2登、3登をはじめ、プロジェクトの初登など、多くの成果を残した。彼らのよると、グレードは正しく、特殊ではあるがエリアとしての評価は非常に高かった。



La livorne(7c/5.12d)の平山ユージ

岩質
石灰岩

ルート

ルートはとにかくケットにつきる。6台のルートでも平気で1本指のホールトが出てくるので、いきなり高難度に取り付くのは危険である。またルート自体は短いボルダー的なものが多く、体への負担も大きい。何日か体を慣らしてから、自分の限界グレードに近づけていくことをお勧めする。高難度(8a以上)はどっかぶりがおおいが、7台以下はスラブっぽいものが多い。(とってぽケット中心)とにかくかなり特殊なエリアであることを頭に入れておきたい。

またここはボルダーが非常に充実している。ボルダーとしても石が転がっているというわけではなく、高さ3-5mくらいの壁が、帯状に100m以上も続いているものがほとんどである。この帯状の壁に、ルートのようにボルダー課題が並んでいる。壁が永遠とつづいているので、課題が贅沢に作ってあり面白い。傾斜は大半が140°からレプである。スイス人の有名なボルダラーも登りに来ていた。

宿泊

アパートはオングレアムのインフォで探してくれる。オングレアムはかなり大きな町なのでホテルはいくらでもある。キャンプ場は不明。

シーズン

春と秋が良いだろう。われわれは9-10月に行ったが雨が多かった。岩はコルネがないので晴れるとすぐ乾く。かなり北にあるので冬は登れないだろう。

ショッピング、トポ

オングレアムは大きな町なので何でも手に入る。オングレアム(angouleme)の駅前にあるツーリスト・インフォメーションでトポが手に入る。ボルダーのトポはないが、地元のクライマーに聞けば教えてくれるし、岩場へ行く途中にも道路わきにあるのでわかるだろう。2001年ころには新しいトポが出る予定。

アプローチ

ワインで有名なボルドーから北に100キロほどのオングレアムが最寄の大きな町である。ここから674号線を南へ15分ほど行ったあたりからエリアがある。岩場は点在しているので詳細はトポを参照のこと

レスト

ボルドーまでは車で1時間半。シャトー (ワインの生産地) が無数にあり 多くは見学をすることができる。日本では1万円くらいのワインも2000円位で手に入るし 試飲することも可能だ

2000年秋 内藤直也